

第2章 高齢者を取り巻く状況

1 横須賀市の高齢者の現状

横須賀市内では、古くからある集落を中心に、現在の市街地が形成されてきました。海に丘陵地が迫る独特の地形から、海から山裾に向かって住宅が立ち並び、また、昭和40年代には標高の低い山でも宅地開発が進み、市内のあちこちに団地が生まれました。

しかし、今日では子どもが独立し、高齢となった夫婦やひとり暮らしの高齢者の住まいが、そうした団地に目立つようになっています。また、駅やバス停から離れた高台にも高齢者の住まいが多く見られます。

(1) 高齢者人口

本市の人口は、平成4年をピークに緩やかな減少傾向にあります。人口構造は、表2に見られるように年少人口、生産年齢人口の減少が続いている一方、高齢者人口が増加を続けています。

表2 年齢3区分の推移

(各年10月1日)

区 分	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)
総人口	432,193人 100.0%	428,645人 100.0%	426,178人 100.0%	418,325人 100.0%
年少人口 (0～14歳)	61,165人 14.2%	56,940人 13.3%	55,085人 12.9%	51,670人 12.4%
生産年齢人口 (15～64歳)	310,247人 71.8%	296,241人 69.1%	281,732人 66.1%	261,078人 62.4%
高齢者人口 (65歳以上)	60,725人 14.1%	74,760人 17.4%	89,292人 21.0%	105,576人 25.2%

資料：国勢調査

※総人口には年齢不詳を含むため、3区分の計と一致しません。

(2) 高齢者のいる世帯の状況

① 高齢者のいる世帯

平成22年10月1日現在の横須賀市内の世帯数は、約16万4,000世帯です。高齢者人口の増加に伴い、高齢者のいる世帯は増加してきています。

また、高齢者のいる世帯に占める「単独世帯数」、「夫婦のみの世帯数」も増加傾向を示しており、高齢化の急速な進展や単独世帯数の増加を背景に、高齢者の社会的孤立が懸念されています。

表3 世帯の状況

(各年10月1日)

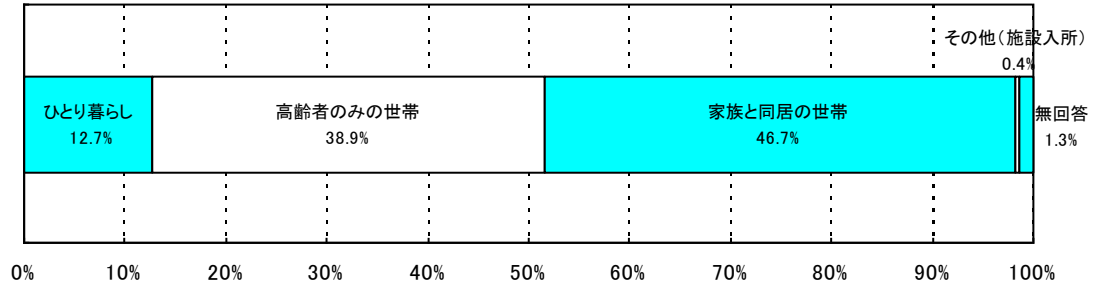
区 分	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)
総世帯数	147,883世帯	156,316世帯	160,945世帯	164,362世帯
一世帯当たり人員	2.85人	2.68人	2.57人	2.46人
高齢者のいる世帯数	43,905世帯	52,959世帯	60,967世帯	70,067世帯
(高齢者のいる世帯の割合)	(29.7%)	(33.9%)	(37.9%)	(42.6%)
単独世帯	7,566世帯	10,998世帯	13,659世帯	17,374世帯
(総世帯数に対する割合)	(5.1%)	(7.0%)	(8.5%)	(10.6%)
(高齢者のいる世帯数に対する割合)	(17.2%)	(20.8%)	(22.4%)	(24.8%)
夫婦のみの世帯	11,924世帯	15,981世帯	19,292世帯	22,491世帯
(総世帯数に対する割合)	(8.1%)	(10.2%)	(12.0%)	(13.7%)
(高齢者のいる世帯数に対する割合)	(27.2%)	(30.2%)	(31.6%)	(32.1%)
その他の世帯	24,415世帯	25,980世帯	28,016世帯	30,202世帯
(総世帯数に対する割合)	(16.5%)	(16.6%)	(17.4%)	(18.4%)
(高齢者のいる世帯数に対する割合)	(55.6%)	(49.1%)	(46.0%)	(43.1%)

資料：国勢調査

② 高齢者の世帯構成

「ひとり暮らし高齢者」及び「高齢者のみの世帯」の占める割合が全体の過半数を超えています。

図1 高齢者の世帯構成



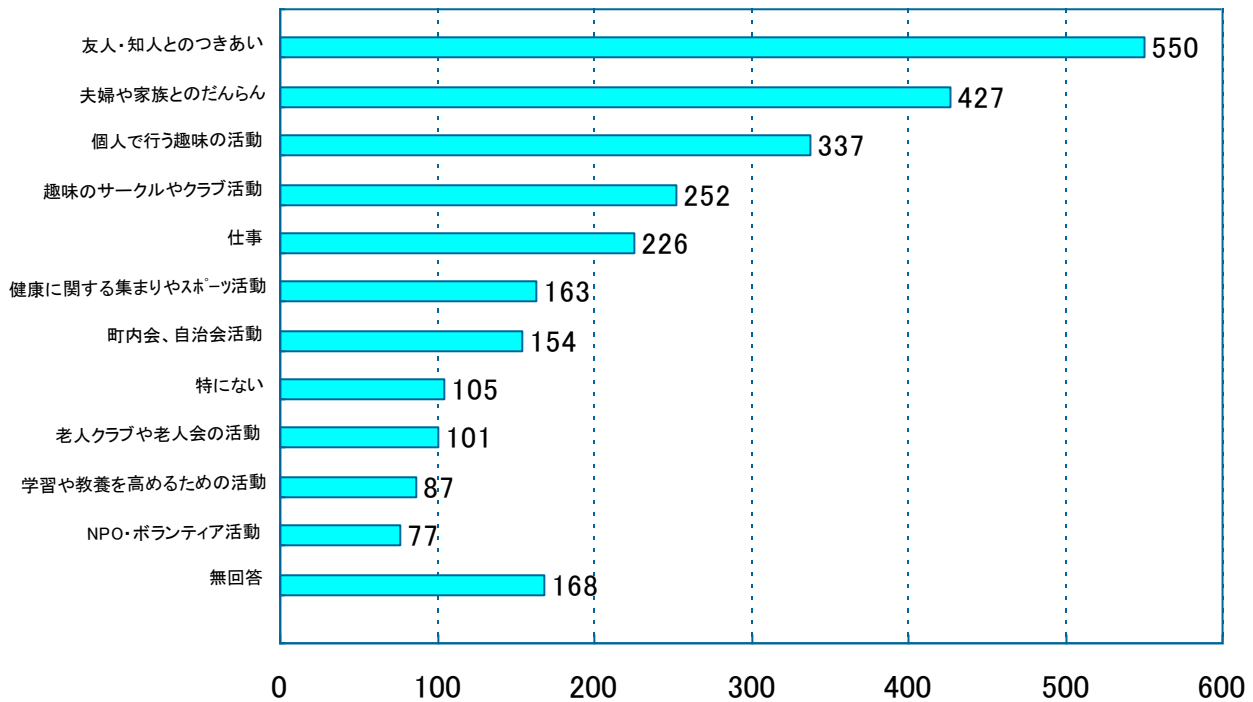
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

③ 日中の状況

高齢者の日常の過ごし方について調査をしたところ、友人や家族と過ごす時間が最も多く、その次は個人や同好のサークルで過ごす趣味の活動時間となっています。

図2 日常の過ごし方（複数回答）

（単位：人）

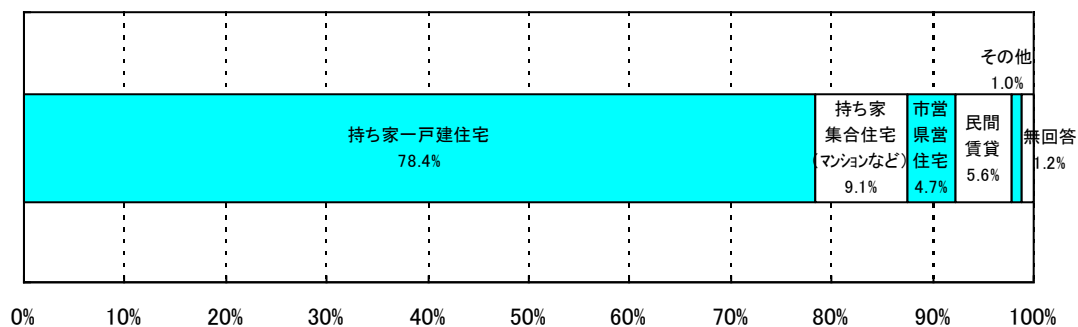


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

(3) 住居の状況

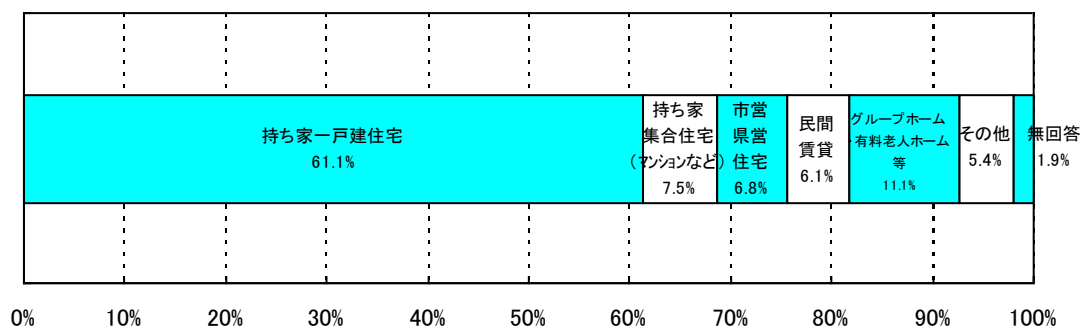
要介護・要支援認定を受けている人も、また、受けていない人も住居は一戸建ての持ち家に住む割合が最も多くなっています。

図3 住まいの形態（要介護・要支援認定なし）



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

図4 住まいの形態（要介護・要支援認定あり）



資料：介護保険に関するアンケート結果（回答者数 1,129）

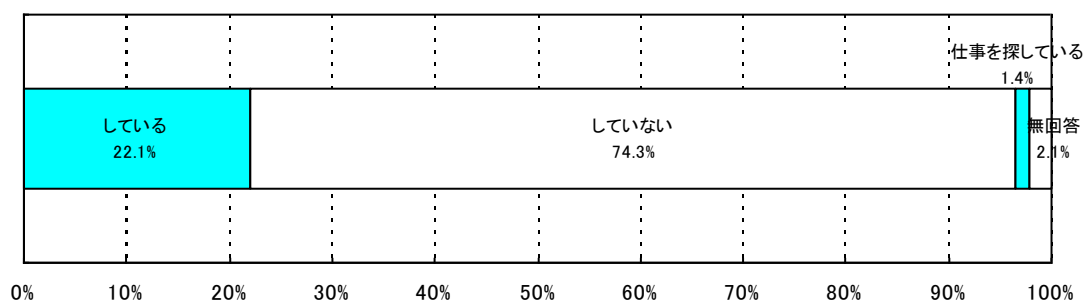
(4) 高齢者の活動状況

① 就労の状況

要介護・要支援認定を受けていない人の就労の状況では、約2割の人（245人）が仕事についており、そのうちの約半数の人は「ほぼ毎日」仕事を行っています。

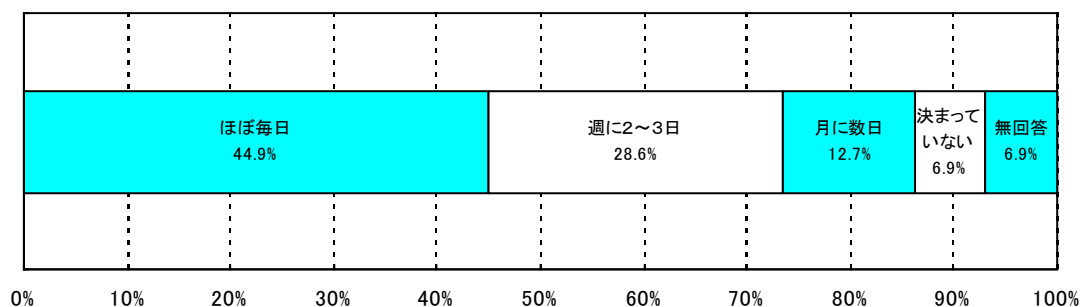
また、仕事をしている理由としては「生活費を得るため」、「生活に張りやリズムができるから」という回答が多くなっています。

図5 就労の状況



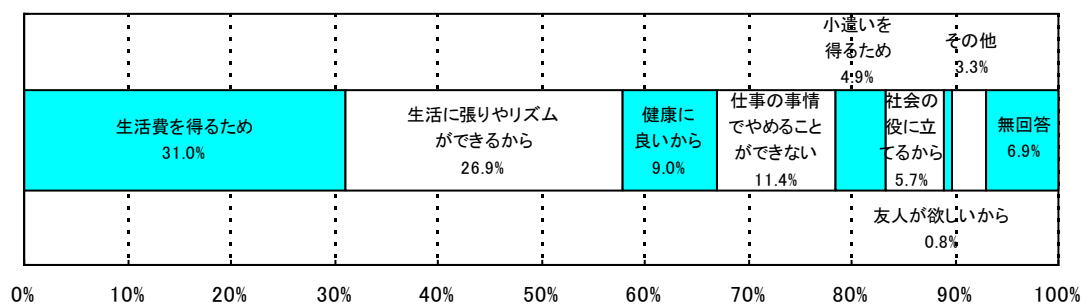
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

図6 仕事の頻度



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 245）

図7 仕事をしている理由



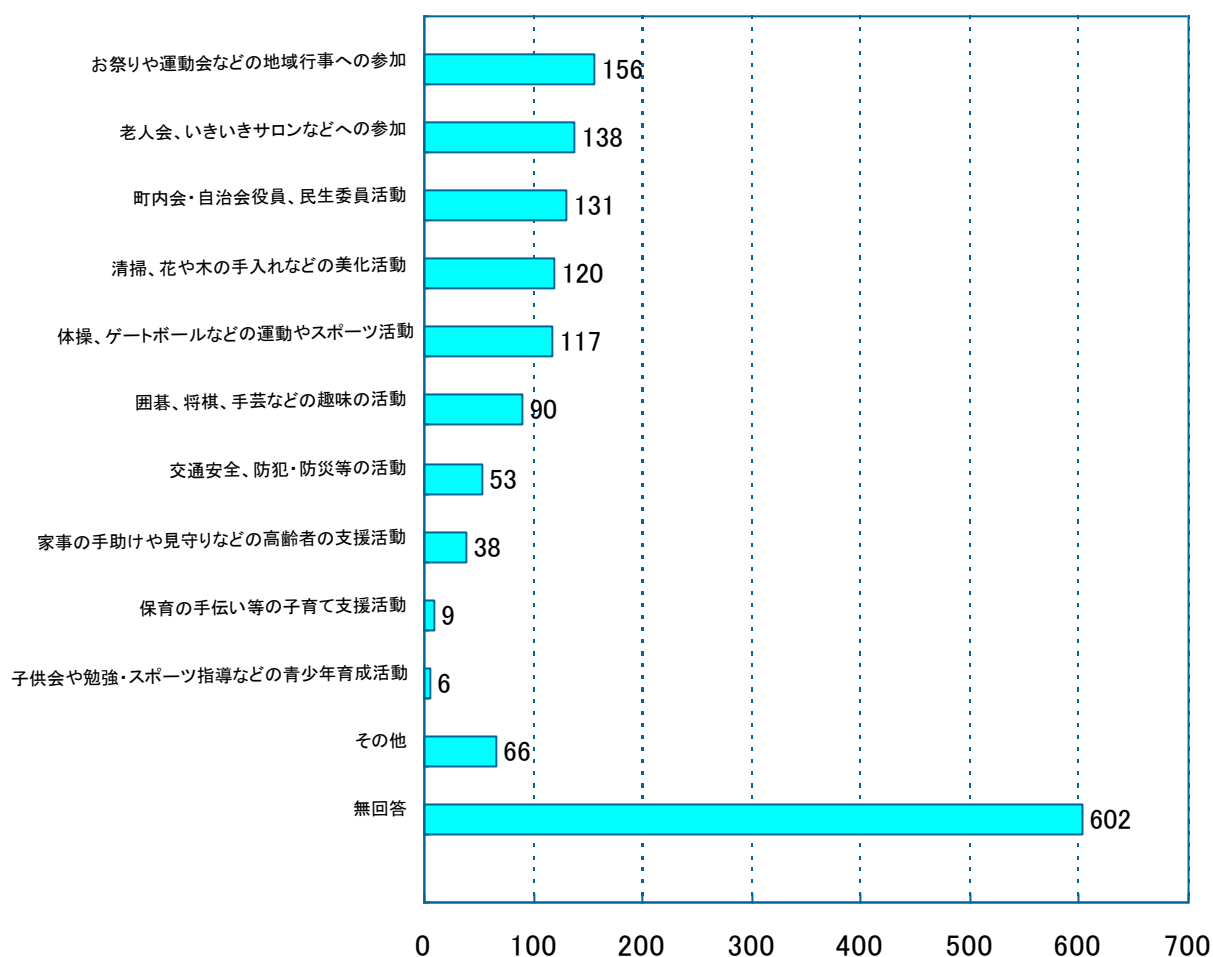
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 245）

② 地域活動への参加状況

地域活動への参加状況を見ると、現在参加しているものでは、「お祭りや運動会などの地域行事」、「老人会、いきいきサロンなど」、「町内会・自治会役員、民生委員活動」などの参加が多くなっています。

図 8 地域活動への参加（複数回答）

（単位：人）



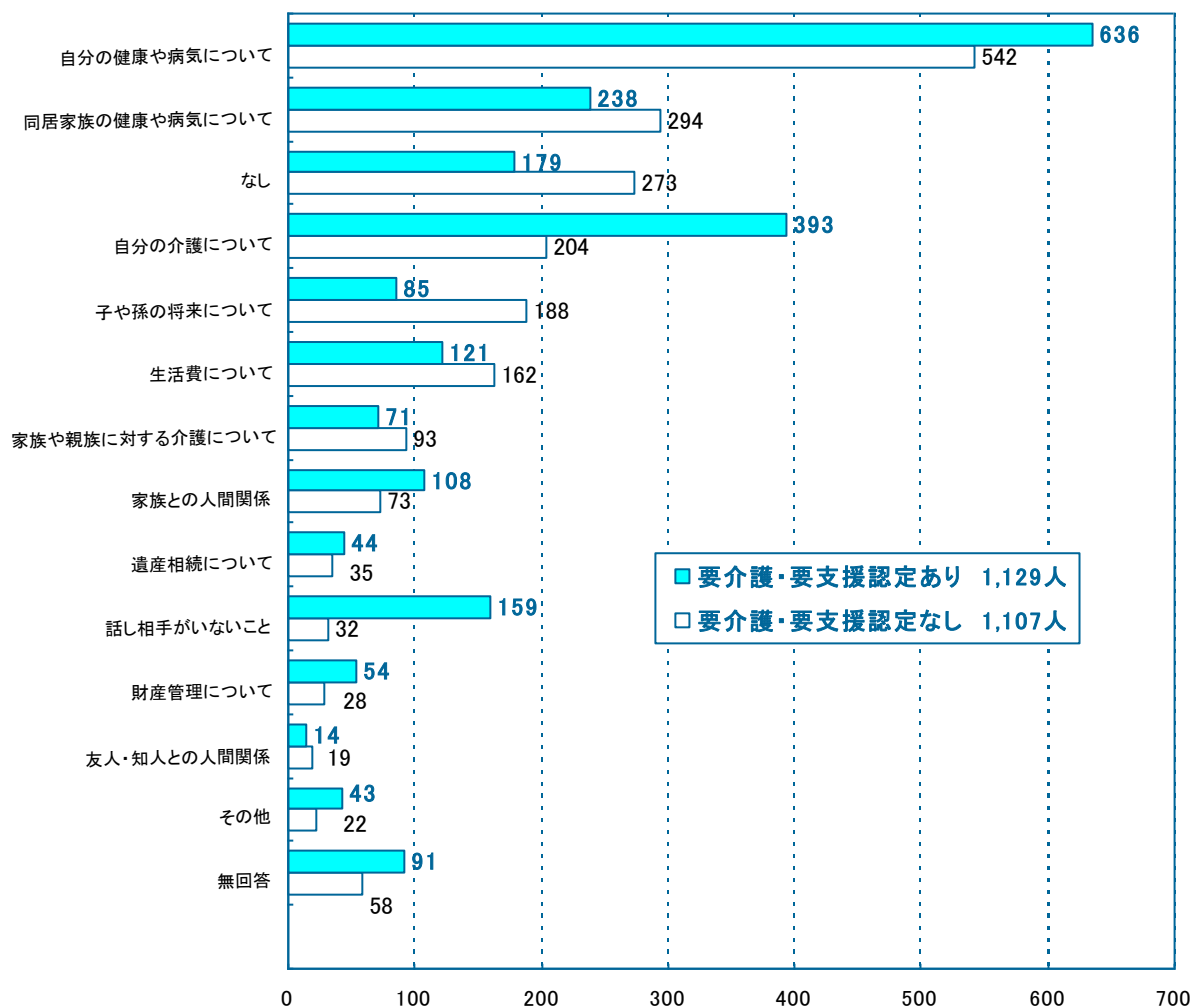
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

③ 心配ごと・悩み

現在の心配ごと・悩みをみると、「自分の健康や病気について」や「同居家族の健康や病気について」の回答が多くなっています。

図9 今の心配ごと（複数回答）

（単位：人）

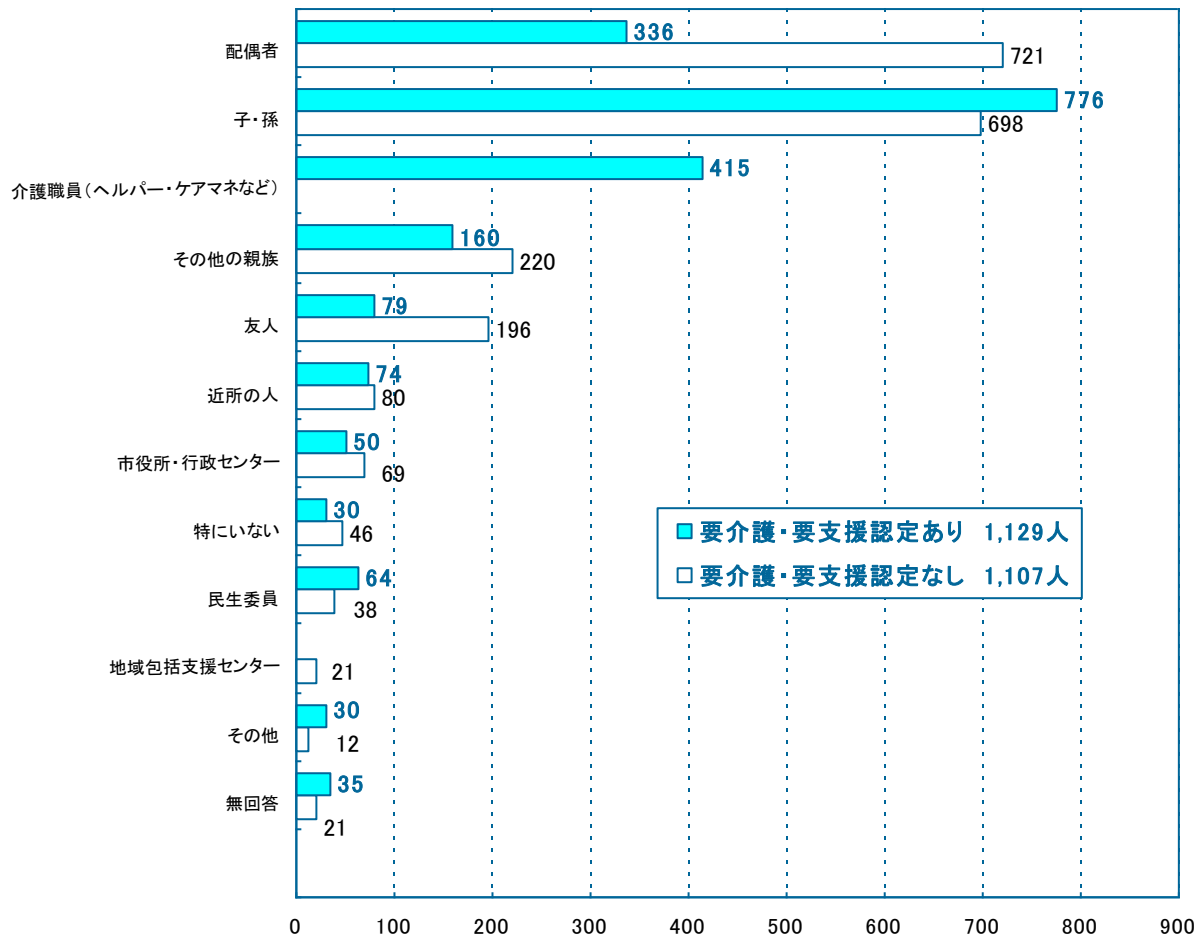


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果
介護保険に関するアンケート結果

また、困ったときの相談相手は、「配偶者」、「子・孫」の回答が多くなっていますが、要介護・要支援認定を受けている人は「介護職員」との回答も多くなっています。

図10 困ったときの相談相手（複数回答）

(単位：人)



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果
介護保険に関するアンケート結果

※「介護職員（ヘルパー・ケアマネジャーなど）」の項目は、「要介護・要支援認定ありの人」のみ回答

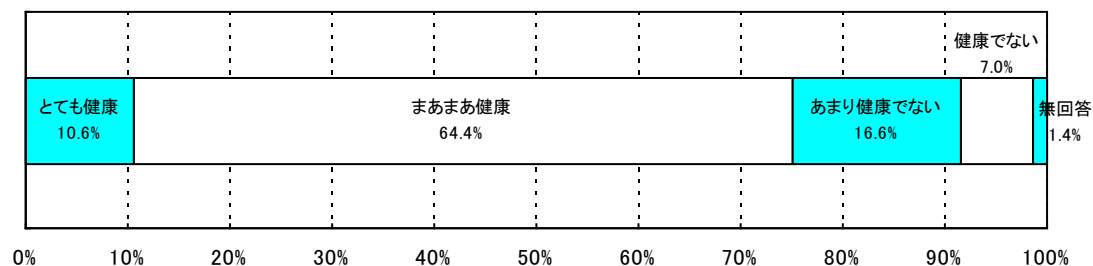
※「地域包括支援センター」の項目は、「要介護・要支援認定なしの人」のみ回答

④ 健康への心掛けと取り組み

ア 主観的健康感について

自分自身の健康についての意識は、「とても健康」または「まあまあ健康」が75%であり、比較的、健康な状況にあると感じている人が多いと思われます。

図11 健康だと思えますか

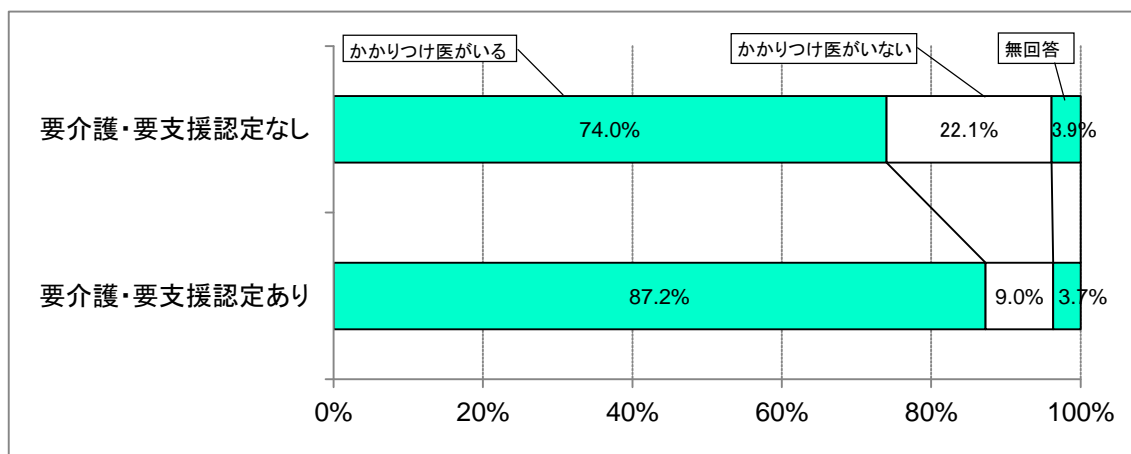


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

イ かかりつけ医の有無について

要介護・要支援認定を受けていない人の74.0%、認定を受けている人の87.2%が「かかりつけ医がいる」という回答をしており、多くの人にかかりつけ医がいます。

図12 かかりつけ医の有無



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

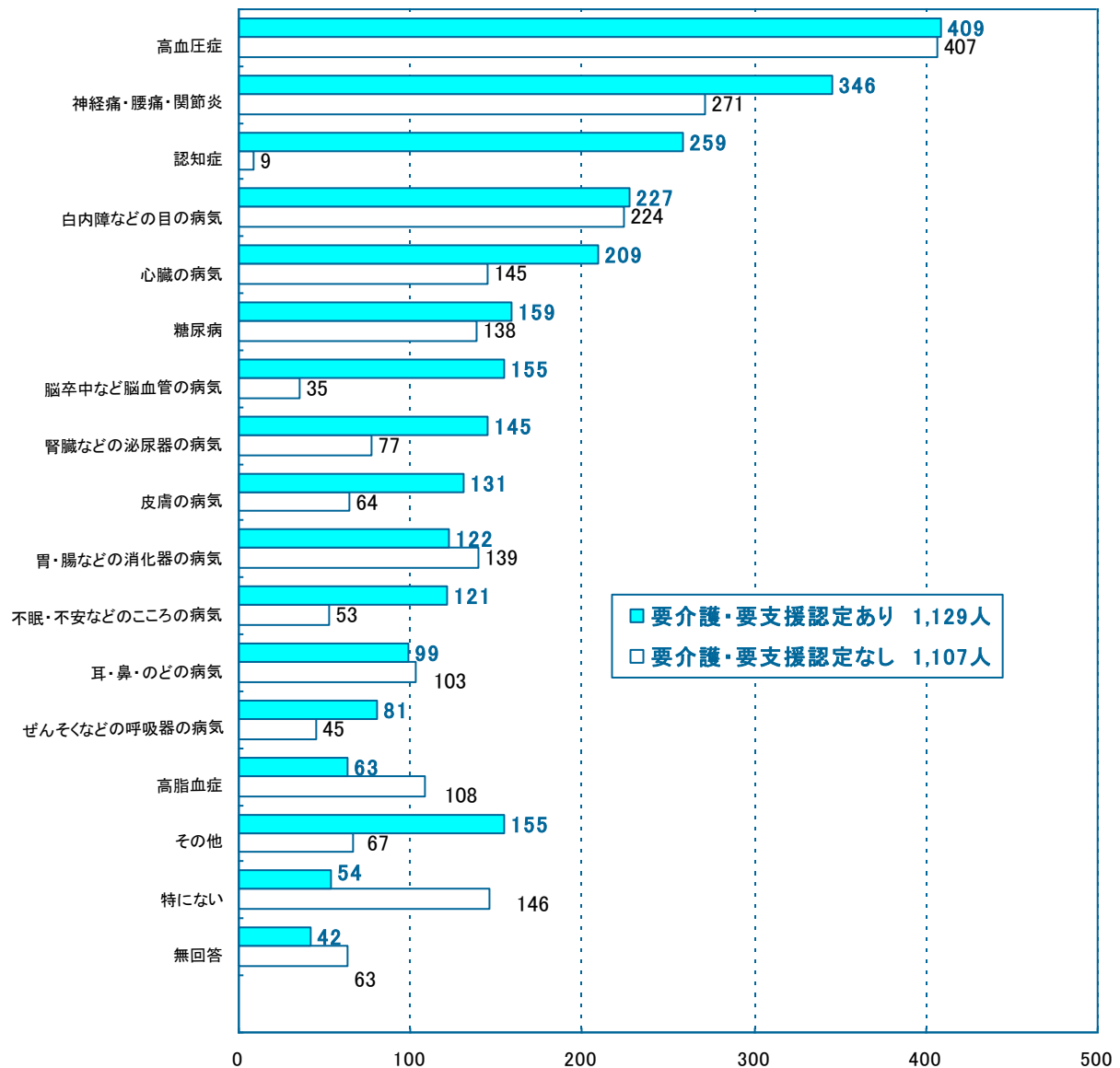
介護保険に関するアンケート結果（回答者数 1,129）

ウ 現在の治療中の病気について

多岐にわたる疾患で治療している様子がうかがえます。全体的に「高血圧症」、「膝・関節疾患」の罹患が多く見られますが、要介護・要支援認定を受けている人は、「認知症」や「脳血管疾患」の罹患率が高い状況にあります。

図13 現在、治療中の病気（複数回答）

（単位：人）



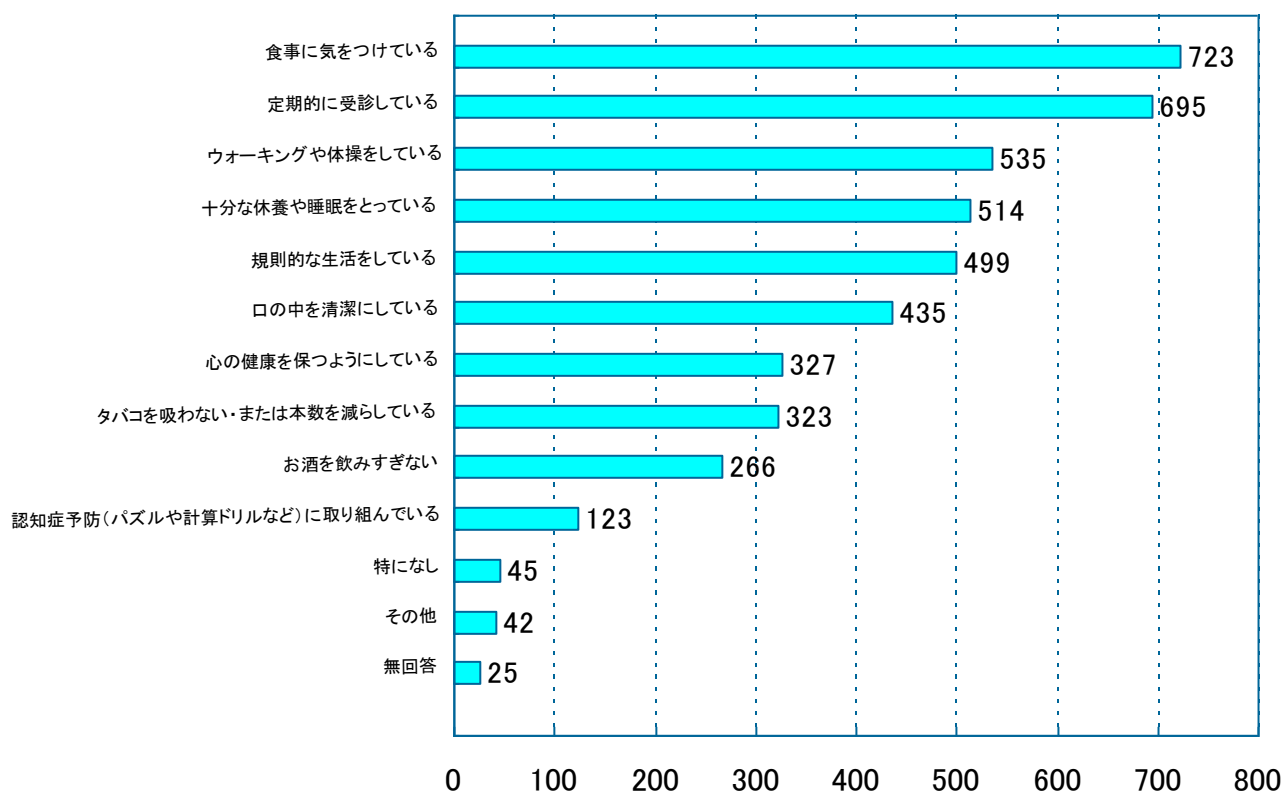
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果
介護保険に関するアンケート結果

エ 健康を維持するための心がけ

健康を保つための心がけとしては「食事に気をつけている」、「定期的を受診している」、「ウォーキングや体操をしている」の回答が多く、意識的な取り組みが見られます。

図14 健康への心がけ（複数回答）

（単位：人）



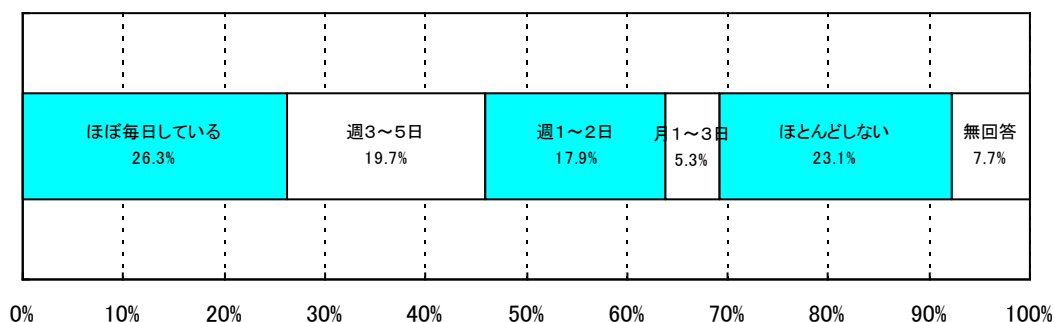
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

オ 健康を維持するための取り組み状況

ウォーキングや体操については約半数の人が、週3回以上取り組んでいます。定期健診は、年1回は必ず行う人が約6割、自分自身で週1回以上、健康チェックをしている人は半数以上となっています。

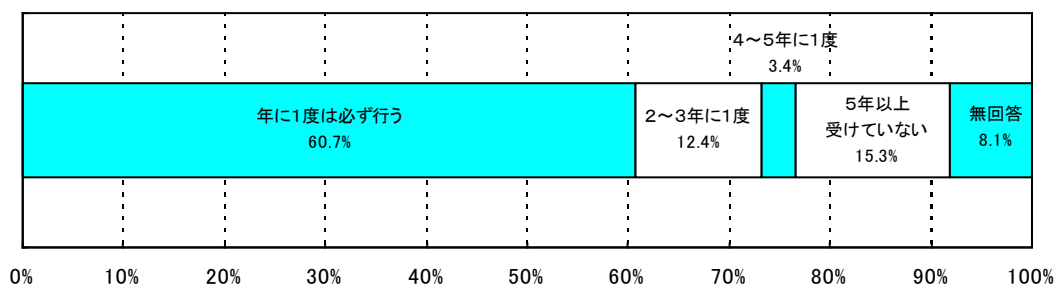
また、栄養バランスを考えている、ある程度考えて食事をしている人は約8割、飲酒は週1回以下が約7割、喫煙しない割合は8割以上となっています。

図15 ウォーキングや体操の頻度



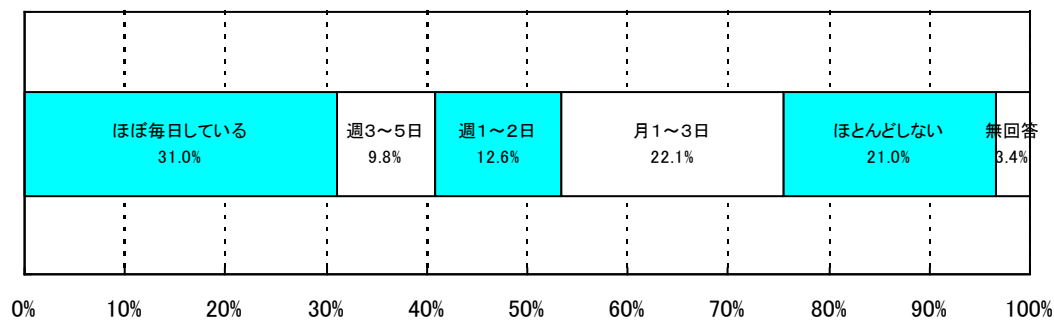
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

図16 定期健診の頻度



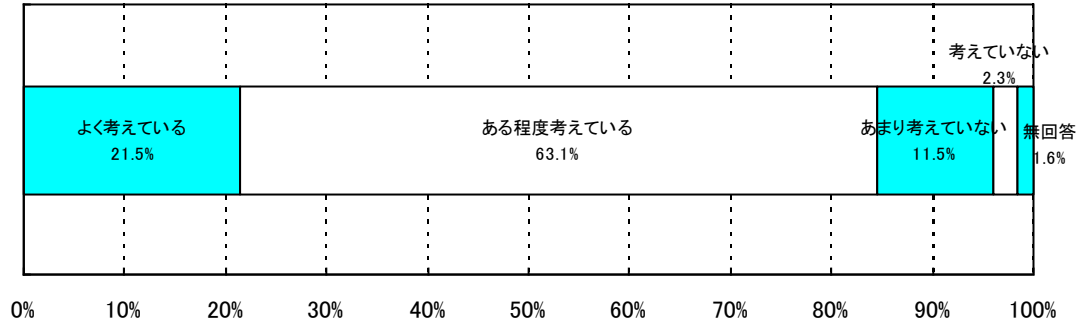
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

図17 健康チェック（血圧測定など）の頻度



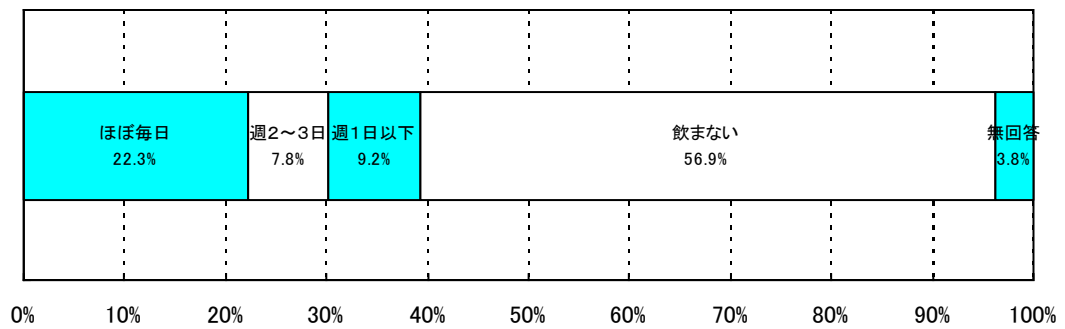
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

図18 栄養バランスを考慮した食事の支度



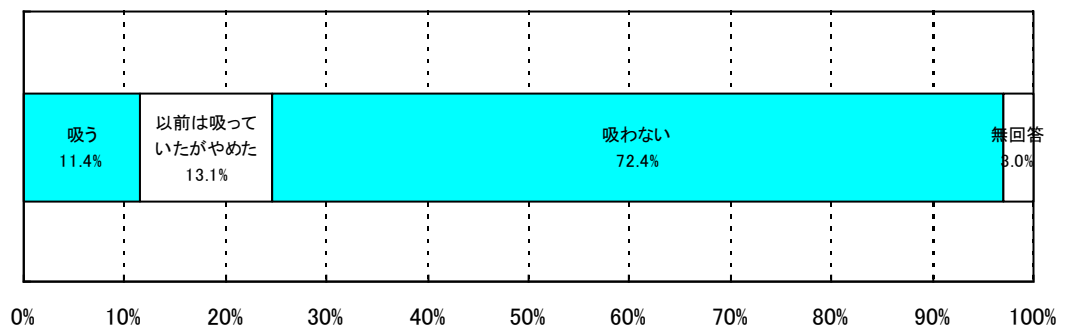
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

図19 飲酒の頻度



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

図20 喫煙の有無



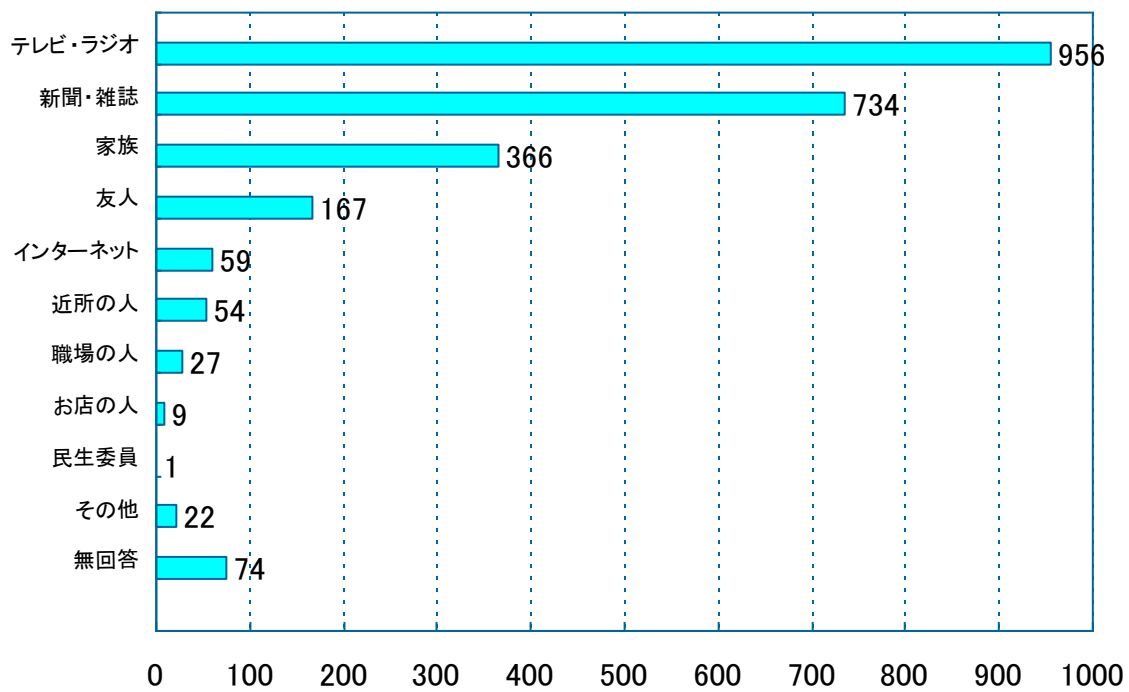
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

カ 健康に関する情報収集

「テレビ・ラジオ」や「新聞・雑誌」から情報を得ている人が多く見られます。

図21 健康に関する情報収集（複数回答）

（単位：人）



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

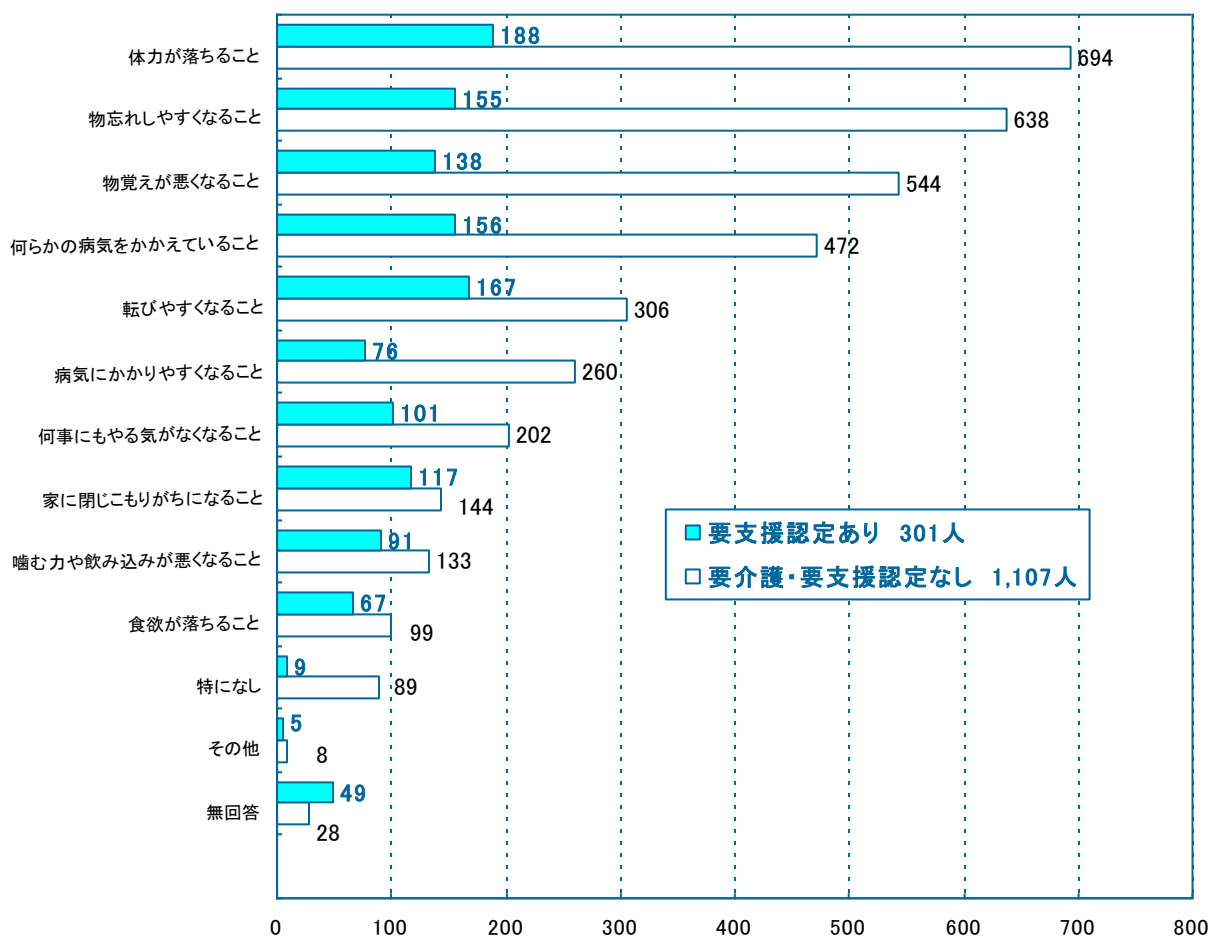
⑤ 介護予防に対する意識と取り組み

ア 歳を重ねること（加齢）に伴う心身の不安について

「体力が落ちること」、「物忘れしやすくなること」、「物覚えが悪くなること」、「何らかの病気をかかえていること」等の不安を挙げている人が多く見られます。

図22 加齢に伴う不安（複数回答）

（単位：人）

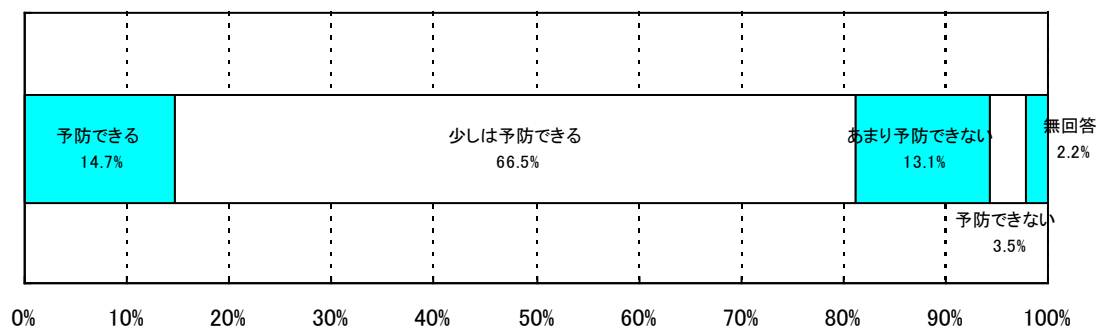


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果
介護保険に関するアンケート結果

イ 介護予防に対する意識

加齢に伴う心身の機能低下の予防に対する意識は「予防できる」が14.7%、「少しは予防できる」が66.5%と回答しており、8割以上の人が介護予防に対する期待を持っています。

図23 介護予防に対する意識

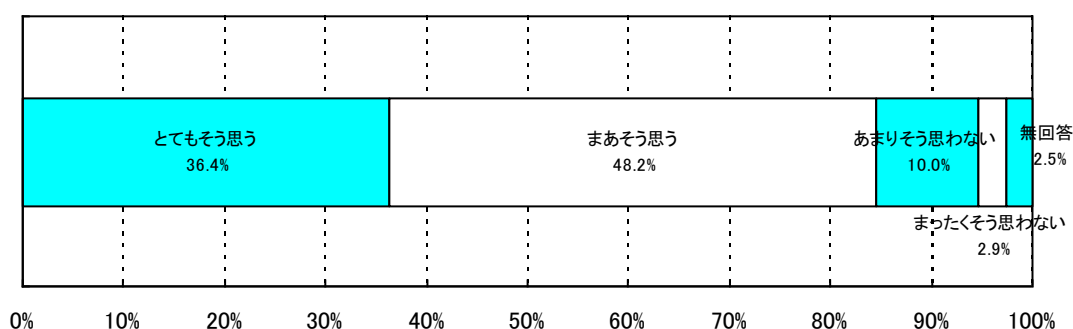


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

ウ 介護予防に役立つ運動や健康づくりへの意向

「介護予防のために運動や健康づくりなどに取り組みたいか」との質問については「とてもそう思う」が36.4%、「まあそう思う」が48.2%と回答し、8割以上の人が介護予防への取り組みの意向があります。

図24 介護予防に役立つ運動や健康づくりへの意向



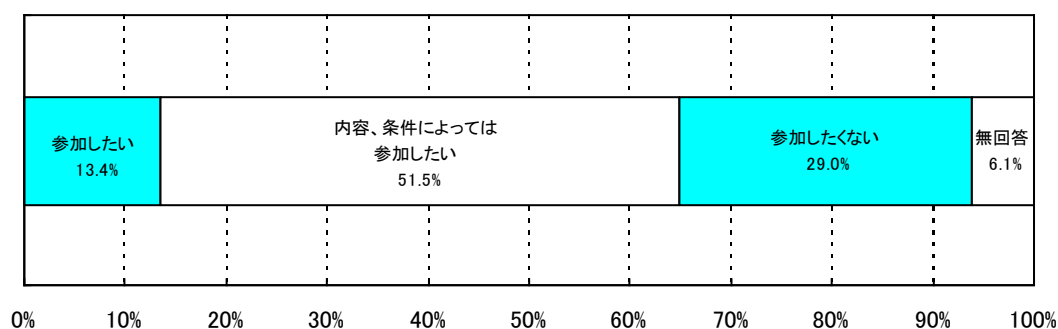
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

エ 今後の介護予防を目的とした教室の利用意向

今後の介護予防教室の利用意向は「参加したい」または「教室の内容、条件によっては参加したい」が約65%（718人）となっています。

参加希望者のうち、参加してみたい教室は、「運動や体操の教室」、「認知症予防教室」、「膝・腰痛改善の教室」、「食事や栄養の教室」の回答が多くなっています。また、参加希望のない人（321人）の理由として、「自分で努力しているから」、「医療機関に通院しているから」、「元気だから」等が挙げられています。

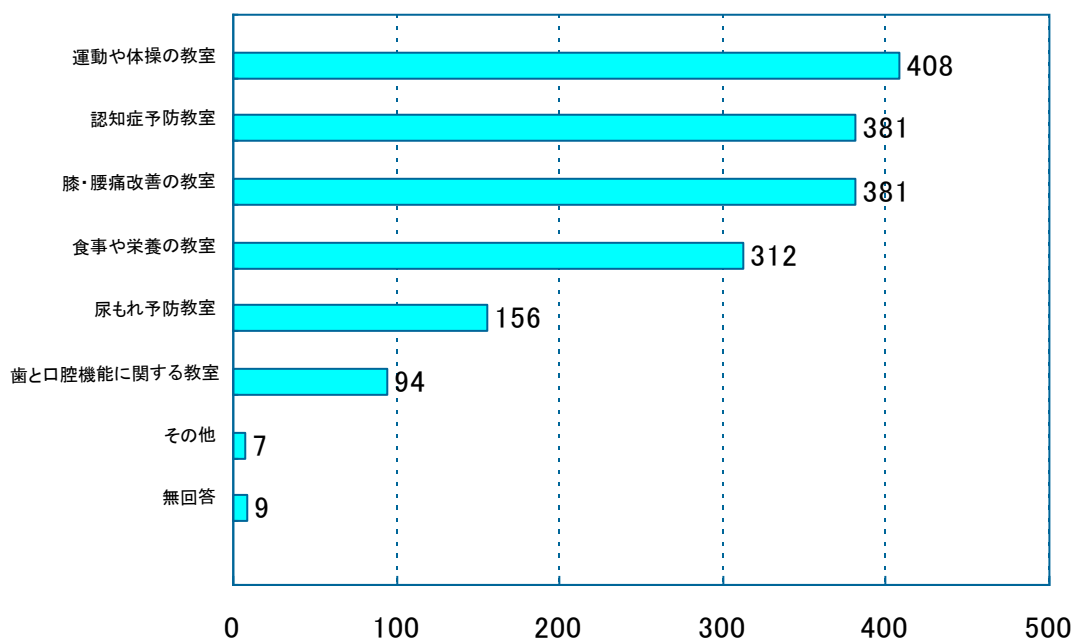
図25 介護予防教室の利用意向



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

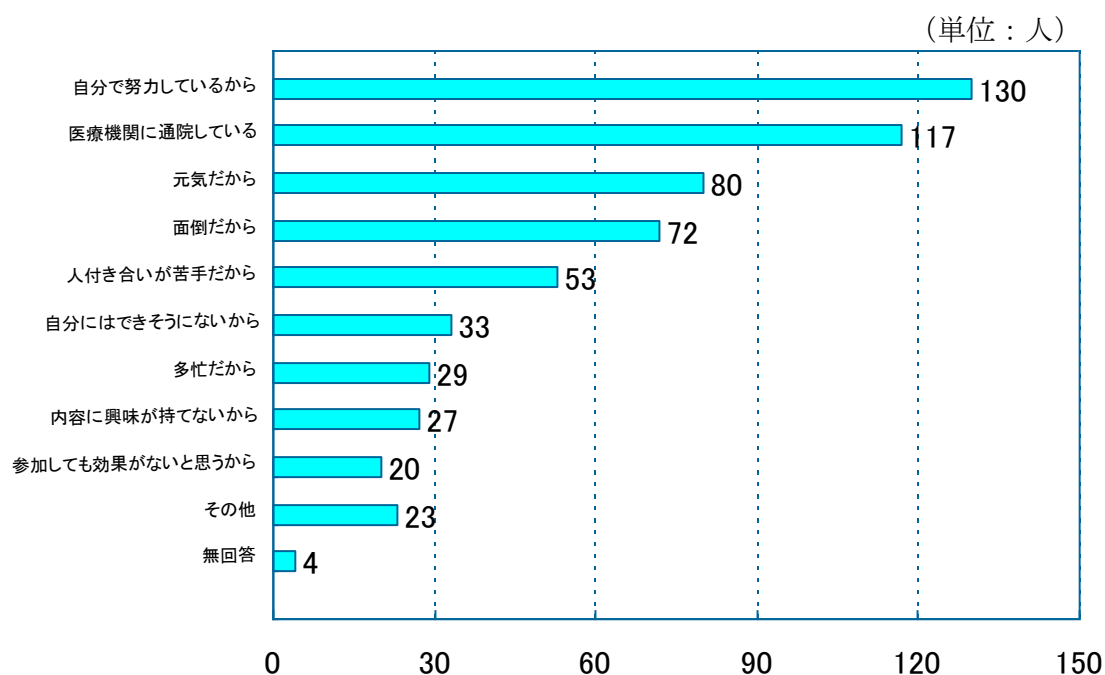
図26 参加したい介護予防教室（複数回答）

（単位：人）



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 718）

図27 介護予防教室に参加したくない理由（複数回答）

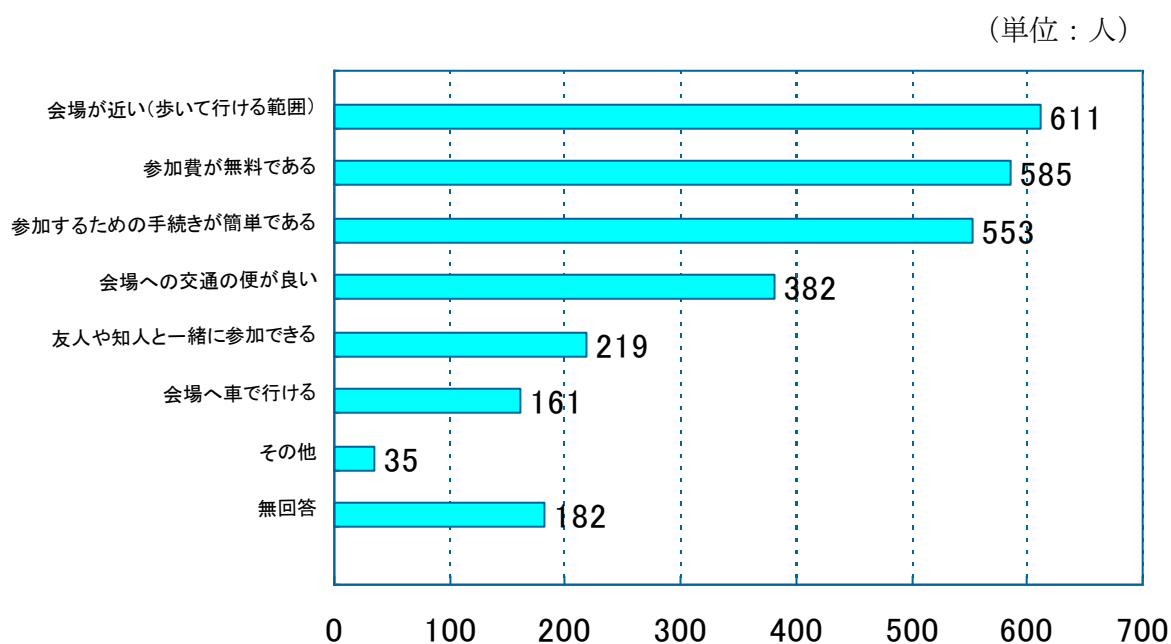


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 321）

オ 介護予防教室への参加しやすい条件

介護予防教室に参加する場合、どのような条件であれば参加しやすいかについては、「会場が近い（歩いて行ける範囲）」、「参加費が無料である」、「参加するための手続きが簡単である」の回答が多くなっています。

図28 介護予防教室への参加条件（複数回答）



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

2 横須賀市の介護保険の状況

(1) 要介護・要支援認定者数の推移

各介護度別の要介護・要支援認定者数の推移は、以下のとおりです。

表4 要介護・要支援認定者数の推移

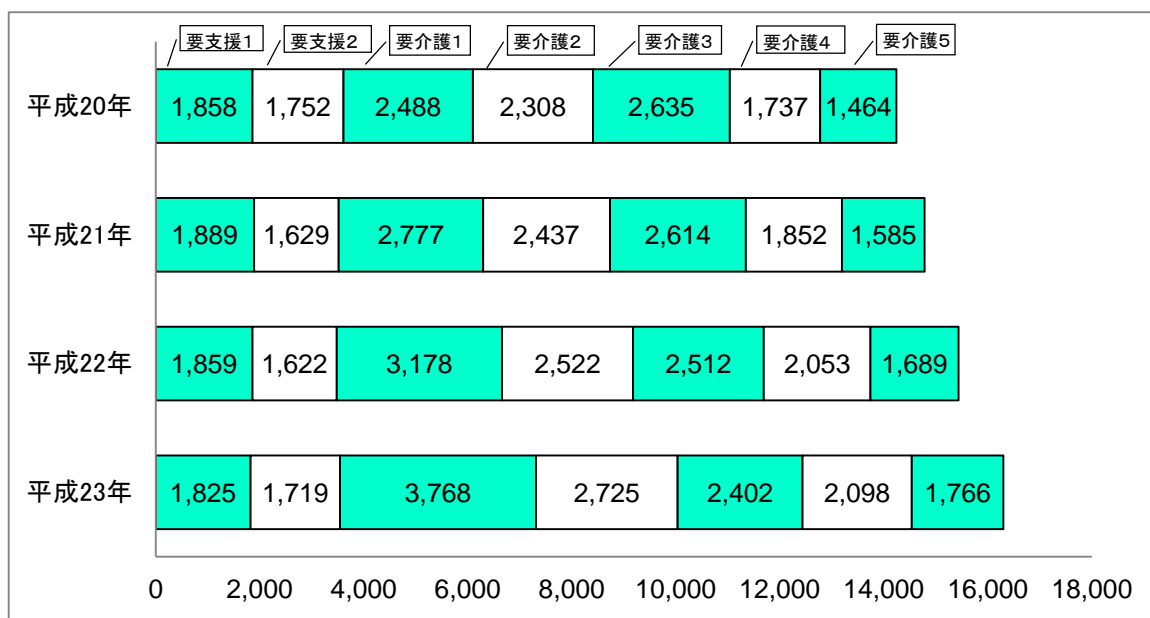
(各月末日現在) (単位：人・%)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
平成20年 3月	1,858	1,752	2,488	2,308	2,635	1,737	1,464	14,242
	13.0	12.3	17.5	16.2	18.5	12.2	10.3	100.0
平成21年 3月	1,889	1,629	2,777	2,437	2,614	1,852	1,585	14,783
	12.8	11.0	18.8	16.5	17.7	12.5	10.7	100.0
平成22年 3月	1,859	1,622	3,178	2,522	2,512	2,053	1,689	15,435
	12.0	10.5	20.6	16.3	16.3	13.3	10.9	100.0
平成23年 3月	1,825	1,719	3,768	2,725	2,402	2,098	1,766	16,303
	11.2	10.5	23.1	16.7	14.7	12.9	10.8	100.0

表中下段は、その時点の要介護・要支援認定者全数に対する割合 (%)。

図29 要介護・要支援認定者数の推移

(各年3月末現在) (単位：人)



(2) 介護保険サービス利用状況

介護保険の保険給付（サービス）は下記の表のとおりです。

表5 保険給付（介護給付・予防給付）

区分	サービス	予防給付	サービスの内容
居宅介護サービス／介護予防サービス	訪問介護	※	ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の援助を行う。
	訪問入浴介護	※	看護師や介護職員が入浴車等で居宅を訪問し、浴槽を提供して入浴の援助を行う。
	訪問看護	※	看護師や保健師が居宅を訪問し、療養生活の改善と心身機能の維持回復のための看護支援を行う。
	訪問リハビリテーション	※	理学療法士、作業療法士等が居宅を訪問し、療養生活の改善と心身機能の維持回復を促すための訓練を行う。
	居宅療養管理指導	※	医師、薬剤師、栄養士等が居宅を訪問し、心身の状況、置かれている環境を把握した上で療養上の管理・指導を行う。
	通所介護(デイサービス)	※	デイサービスセンター等で入浴・食事等の日常生活上の世話や心身機能の維持回復のための機能訓練等を行う。
	通所リハビリテーション	※	医療機関等で、入浴・食事等の日常生活上の世話や心身機能の維持回復のための理学療法・作業療法等を行う。
	短期入所生活介護(ショートステイ)	※	特別養護老人ホーム等に短期間入所し、食事・入浴等の日常生活上の世話や心身機能の回復のための機能訓練を行う。
	短期入所療養介護(ショートステイ)	※	医療機関等に短期間入所し、食事・入浴等の日常生活上の世話や心身機能の維持回復のための機能訓練を行う。
	特定施設入居者生活介護	※	有料老人ホーム、養護老人ホーム、適合高齢者専用賃貸住宅等で、食事・入浴等の日常生活上の世話や機能訓練を行う。
	福祉用具貸与	※	特殊ベッドや車いす等、日常生活上の便宜や機能訓練のための福祉用具の貸与を行う。
	特定福祉用具販売	※	腰掛便座や浴槽用手すりなど入浴や排せつに用いる福祉用具の購入について購入金額の一定割合を給付する。
	住宅改修	※	要介護者の心身や住宅の状況から必要と認められた場合、手すりの取り付け等の住宅改修について一定額を給付する。
居宅介護支援／ 介護予防支援	※	介護支援専門員（ケアマネジャー）が居宅の要介護者について居宅サービス計画（ケアプラン）を作成する。	

表5（続き）

地域密着型介護サービス／地域密着型介護予防サービス	夜間対応型訪問介護		夜間に、定期的な巡回または通報により要介護者宅を訪問し、排せつの介護、日常生活上の緊急時の対応、その他利用者の求めに応じて随時対応する訪問介護を組み合わせたサービスを行う。
	認知症対応型通所介護	※	認知症の人に対して、老人デイサービスセンターに通ってもらい、入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を行う。
	小規模多機能型居宅介護	※	施設への「通い」を中心として、利用者の態様や希望などに応じ、随時、ヘルパーによる「訪問」や「泊まり」を組み合わせサービスを提供し、住み慣れた自宅や地域において入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を行う。
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	※	認知症の人に対して、共同生活住居で家庭的な環境と地域住民との交流の下で入浴・排せつ・食事等の介護その他の日常生活上の世話や機能訓練を行う。
	地域密着型特定施設入居者生活介護		有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム等の入居定員が29人以下の施設において、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を行う。
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		特別養護老人ホームであって入所定員が29人以下の施設において、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行う。
施設サービス	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）		特別養護老人ホームであって入所定員が30人以上の施設において、入浴・排せつ・食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行う。
	介護老人保健施設		看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話を行う。
	介護療養型医療施設		療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話及び機能訓練その他必要な医療を行う。

※のあるものは、予防給付（要支援1・2の人が利用できるサービス）があるもの。

また、それぞれのサービスの利用状況は次の表のとおりです。

表6 介護サービスの利用実績（事業量）

（単位：件・回・日）

区 分	単位	平成21年度			平成22年度		
		計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス							
訪問介護	回	454,761	473,355	104.1%	467,757	502,835	107.5%
訪問入浴介護	回	32,143	32,815	102.1%	33,060	33,781	102.2%
訪問看護	回	66,802	61,178	91.6%	68,713	61,636	89.7%
訪問リハビリテーション	回	1,015	3,679	362.5%	1,041	4,876	468.4%
居宅療養管理指導	件	19,378	25,240	130.3%	19,931	28,909	145.0%
通所介護	回	287,219	308,540	107.4%	295,430	336,255	113.8%
通所リハビリテーション	回	48,507	55,651	114.7%	49,894	64,404	129.1%
短期入所生活介護	日	119,408	118,503	99.2%	122,817	120,595	98.2%
短期入所療養介護	日	6,433	6,759	105.1%	6,618	6,880	104.0%
特定施設入居者生活介護	件	4,104	5,017	122.2%	4,560	6,211	136.2%
福祉用具貸与	件	35,429	41,015	115.8%	36,441	44,644	122.5%
特定福祉用具販売	件	1,168	1,231	105.4%	1,201	1,339	111.5%
住宅改修	件	733	812	110.8%	754	870	115.4%
居宅介護支援	件	73,107	77,552	106.1%	75,196	82,592	109.8%
施設サービス							
介護老人福祉施設	件	19,800	19,444	98.2%	19,800	19,940	100.7%
介護老人保健施設	件	11,388	12,690	111.4%	12,480	13,626	109.2%
介護療養型医療施設	件	1,320	1,631	123.6%	1,320	1,718	130.2%
地域密着型サービス							
夜間対応型訪問介護	件	1,200	0	0.0%	2,400	0	0.0%
認知症対応型通所介護	回	18,144	18,789	103.6%	19,824	19,444	98.1%
小規模多機能型居宅介護	件	264	8	3.0%	528	92	17.4%
認知症対応型共同生活介護	件	6,960	6,879	98.8%	7,236	7,095	98.1%

表7 介護予防サービスの利用実績（事業量）

（単位：件・回・日）

区 分	単位	平成21年度			平成22年度		
		計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス							
介護予防訪問介護	件	11,892	8,822	74.2%	12,345	8,215	66.5%
介護予防訪問入浴介護	回	172	14	8.1%	176	7	4.0%
介護予防訪問看護	回	1,125	346	30.8%	1,168	190	16.3%
介護予防訪問リハビリテーション	回	84	148	176.2%	84	131	156.0%
介護予防居宅療養管理指導	件	1,111	1,658	149.2%	1,153	1,540	133.6%
介護予防通所介護	件	15,327	15,300	99.8%	15,911	14,646	92.0%
介護予防通所リハビリテーション	件	2,256	2,140	94.9%	2,342	1,777	75.9%
介護予防短期入所生活介護	日	3,461	2,420	69.9%	3,595	1,521	42.3%
介護予防短期入所療養介護	日	59	51	86.4%	59	34	57.6%
介護予防特定施設入居者生活介護	件	1,296	1,457	112.4%	1,440	1,226	85.1%
介護予防福祉用具貸与	件	2,688	3,815	141.9%	2,790	4,199	150.5%
特定介護予防福祉用具販売	件	341	314	92.1%	354	304	85.9%
介護予防住宅改修	件	376	336	89.4%	390	338	86.7%
介護予防支援	件	27,126	24,620	90.8%	28,159	23,676	84.1%
地域密着型サービス							
介護予防認知症対応型通所介護	回	336	78	23.2%	336	76	22.6%
介護予防小規模多機能型居宅介護	件	36	0	0.0%	72	2	2.8%
介護予防認知症対応型共同生活介護	件	72	28	38.9%	72	37	51.4%

表8 介護サービスの利用実績（給付費）

（単位：千円）

区 分	平成21年度			平成22年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス	8,628,608	8,760,659	101.5%	8,899,136	9,464,880	106.4%
訪問介護	2,210,589	2,193,371	99.2%	2,263,475	2,275,312	100.5%
訪問入浴介護	408,176	391,921	96.0%	419,814	403,035	96.0%
訪問看護	571,251	492,752	86.3%	587,593	499,241	85.0%
訪問リハビリテーション	5,343	17,076	319.6%	5,483	24,094	439.4%
居宅療養管理指導	143,824	185,854	129.2%	147,928	213,416	144.3%
通所介護	2,417,772	2,416,456	99.9%	2,456,799	2,621,002	106.7%
通所リハビリテーション	488,095	512,610	105.0%	502,050	575,446	114.6%
短期入所生活介護	1,051,287	987,499	93.9%	1,081,296	1,010,699	93.5%
短期入所療養介護	61,818	65,655	106.2%	63,594	68,914	108.4%
特定施設入居者生活介護	779,690	927,800	119.0%	866,322	1,155,598	133.4%
福祉用具貸与	490,763	569,666	116.1%	504,781	618,125	122.5%
特定福祉用具販売	30,082	32,617	108.4%	30,932	34,818	112.6%
住宅改修	80,013	83,982	105.0%	82,305	87,101	105.8%
居宅介護支援	929,556	1,029,370	110.7%	956,117	1,146,310	119.9%
施設サービス	8,631,991	8,682,286	100.6%	8,921,002	9,112,645	102.1%
介護老人福祉施設	5,134,041	4,842,880	94.3%	5,134,041	5,002,562	97.4%
介護老人保健施設	3,013,971	3,276,243	108.7%	3,302,982	3,530,226	106.9%
介護療養型医療施設	483,979	563,162	116.4%	483,979	579,857	119.8%
地域密着型サービス	2,131,003	1,916,984	90.0%	2,300,899	2,004,751	87.1%
夜間対応型訪問介護	33,696	0	0.0%	67,392	0	0.0%
認知症対応型通所介護	210,397	206,006	97.9%	229,878	215,411	93.7%
小規模多機能型居宅介護	43,623	1,665	3.8%	87,247	17,638	20.2%
認知症対応型共同生活介護	1,843,286	1,709,313	92.7%	1,916,382	1,771,703	92.5%
総 計	20,431,252	20,505,898	100.4%	21,190,392	21,850,505	103.1%

※ 端数処理をしているため、合算した数値は一致しない場合があります。

表9 介護予防サービスの利用実績（給付費）

（単位：千円）

区 分	平成21年度			平成22年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス	1,060,234	904,442	85.3%	1,109,999	826,376	74.4%
介護予防訪問介護	231,014	145,000	62.8%	239,814	133,687	55.7%
介護予防訪問入浴介護	1,507	115	7.6%	1,550	58	3.7%
介護予防訪問看護	8,389	2,383	28.4%	8,709	1,453	16.7%
介護予防訪問リハビリテーション	442	423	95.7%	442	545	123.3%
介護予防居宅療養管理指導	9,657	13,372	138.5%	10,022	11,668	116.4%
介護予防通所介護	550,025	502,447	91.3%	570,982	488,222	85.5%
介護予防通所リハビリテーション	96,234	85,009	88.3%	99,903	69,214	69.3%
介護予防短期入所生活介護	21,234	14,670	69.1%	22,058	8,742	39.6%
介護予防短期入所療養介護	492	445	90.4%	492	200	40.7%
介護予防特定施設入居者生活介護	128,843	124,812	96.9%	143,159	96,616	67.5%
介護予防福祉用具貸与	12,397	15,766	127.2%	12,867	15,972	124.1%
特定介護予防福祉用具販売	7,358	5,830	79.2%	7,639	6,835	89.5%
介護予防住宅改修	45,031	39,638	88.0%	46,708	36,615	78.4%
介護予防支援	126,787	111,060	87.6%	131,615	108,195	82.2%
地域密着型サービス	23,588	6,246	26.5%	26,504	9,438	35.6%
介護予防認知症対応型通所介護	3,137	697	22.2%	3,137	690	22.0%
介護予防小規模多機能型居宅介護	2,916	0	0.0%	5,832	64	1.1%
介護予防認知症対応型共同生活介護	17,534	5,549	31.6%	17,534	8,683	49.5%
総 計	1,262,998	1,067,216	84.5%	1,322,465	987,459	74.7%

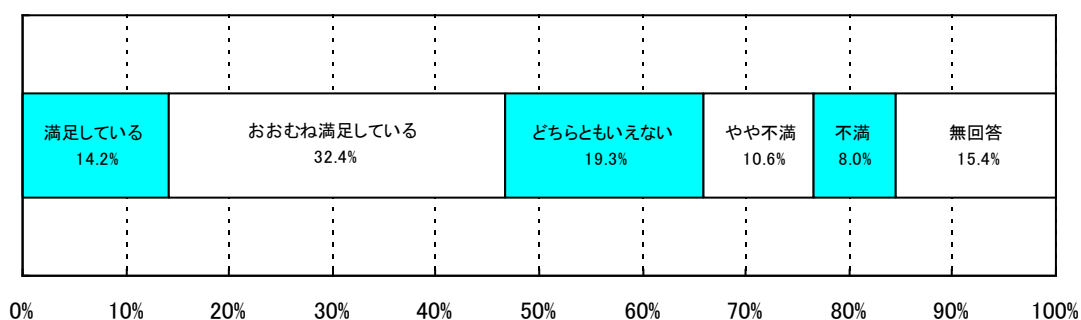
※ 端数処理をしているため、合算した数値は一致しない場合があります。

(3) 介護保険制度の評価

要介護・要支援認定を受けている人に、介護保険制度の満足度を質問したところ、「満足している」、「おおむね満足している」と回答した人が46.6%、「不満」、「やや不満」と回答した人が18.6%となっています。

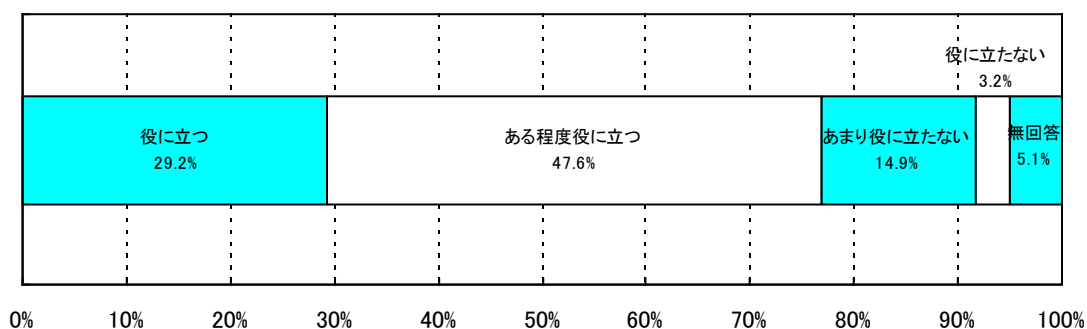
また、認定を受けていない人に、「介護保険制度が将来役立つか」と質問したところ、「役に立つ」、「ある程度役に立つ」と回答した人が76.8%、「役に立たない」、「あまり役に立たない」と回答した人が18.1%となっています。

図30 介護保険制度への満足度



資料：介護保険に関するアンケート結果（回答者数 913）

図31 介護保険制度が将来役立つか

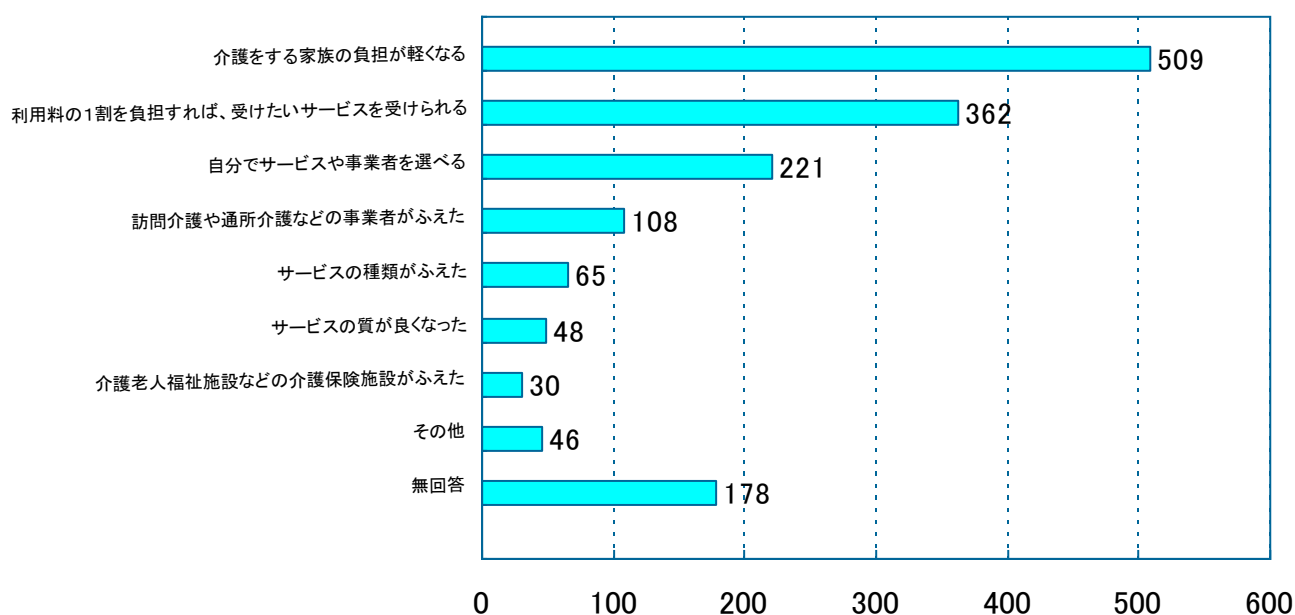


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）

また、介護保険制度の良い点については、「介護をする家族の負担が軽くなる」、「利用料の1割を負担すれば、受たいサービスを受けられる」という回答が多く、反対に、良くない点については「手続きが煩雑」、「サービスの利用の仕方がわからない」との回答が多く見られました。

図32 介護保険制度の良いところ（複数回答）

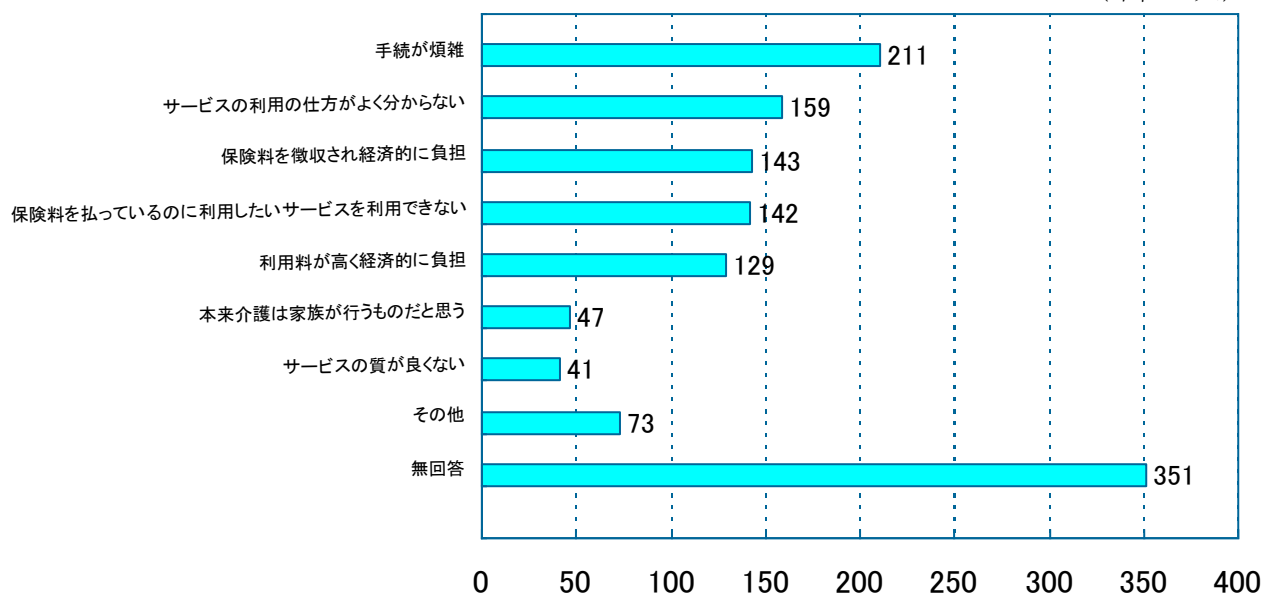
（単位：人）



資料：介護保険に関するアンケート結果（回答者数 913）

図33 介護保険制度の良くないところ（複数回答）

（単位：人）



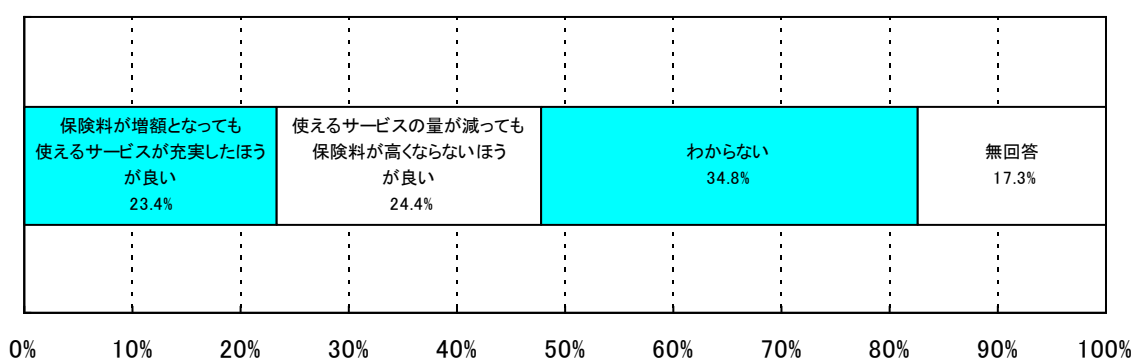
資料：介護保険に関するアンケート結果（回答者数 913）

(4) 今後のサービス水準と保険料のあり方

要介護・要支援認定を受けている人は、「保険料が増額となっても、使えるサービスが充実したほうが良い」と回答した人が23.4%、「使えるサービスの量が減っても、保険料が高くないほうが良い」と回答した人が24.4%とほぼ同数となっています。

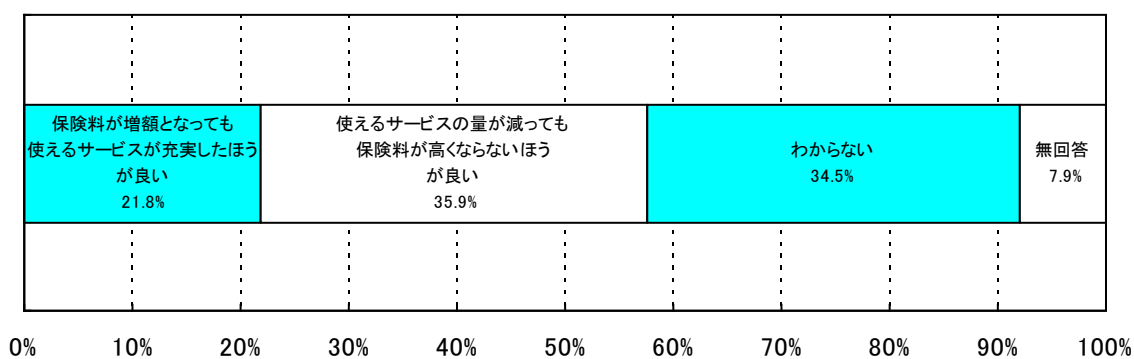
また、認定を受けていない人では、「保険料が増額となっても、使えるサービスが充実したほうが良い」と回答した人が21.8%、「使えるサービスの量が減っても、保険料が高くないほうが良い」と回答した人が35.9%となっています。

図34 介護保険料負担と給付水準（要介護・要支援認定あり）



資料：介護保険に関するアンケート結果（回答者数 913）

図35 介護保険料負担と給付水準（要介護・要支援認定なし）



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果（回答者数 1,107）